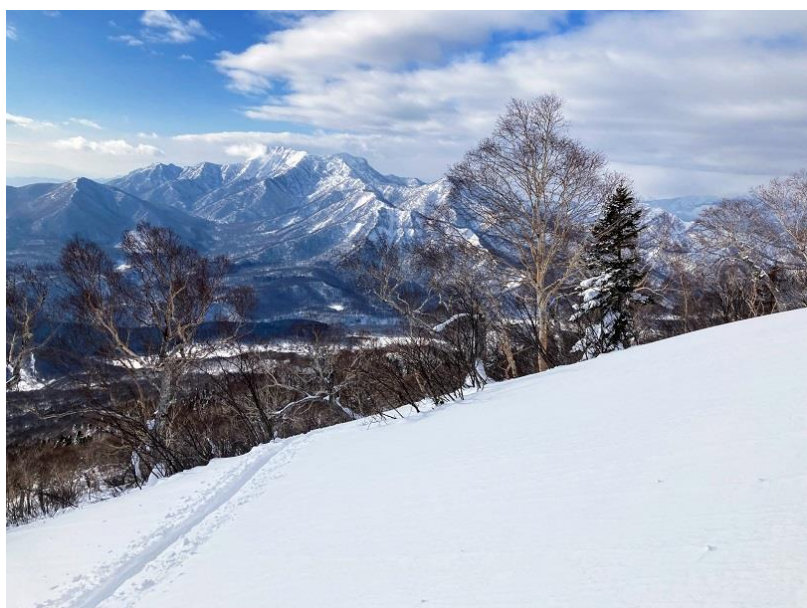


# 妙高・北信周辺 黒姫高原BC山スキー

T野

2023年1月7日～9

1月3連休、妙高の定宿「一富久」が最近、有名になったのか満室で予約が取れず、黒姫高原に比較的安価なコテージ（ログコテージさくら）を見つけ、ここをベースに山スキーを楽しむことにする。今年は年末に大寒波が来て、新潟や山形は災害級の大雪が降り、年始も寒波が相次いできて、一見、雪の心配はないように思えたが、実際は山沿いには雪雲が入らず、年末の上越や妙高は全くの雪不足、年始にはそこそこ降って体裁を整えたものの、黒姫高原付近のスキー場の雪は100cmにも満たず、まだまだ降り足りない状況であった。それでも、ようやく赤倉温泉スキー場の積雪が200cmを越えたので一安心。ということで出かけてきましたので報告です。



1/7

杉ノ原スキー場～三田原山～  
光善寺池～滝沢尾根～アカカ  
ンスキー場

メンバー：T野・I崎

1/6深夜に「道の駅しなの」でメンバーが合流。1/7は予報も良く楽しめそう。今回、アカカン～前山～滝沢尾根をメインパーティーで行ってもらい、T野・I崎・A原で別パーティーを組み、以前から気になっていたこのルートに行かせてもらうことにする。わがまますを聞いていただき、有難いことです。杉ノ原スキー場までメインパーティーに送っていただく。ここはシニアに凄く優しく、長いゴンドラ+クワッドリフトを乗り継いで通常料金は¥2500のところ、シニアは¥1800！！一気に標高差800m以上も稼いでいただきこの価格、これも有難いことです。

■写真上 三田原への登りで高妻・乙妻を望む。

■写真下 三田原山頂で妙高プリンバックに！！



しかしここでトラブル発生！！ゴンドラとリフトの連絡ルートを滑っている時に、A原さんのストックのバスケットが紛失！！年末のK野チャンに続いて同じトラブルである。これって結構まずいなあー、





つつい登り気味のトレースを付けてしまいそうになるので、意識して下り気味にトレースを付ける。あまり知られていないが、妙高山南面は急斜面のシュートがいくつもあり、雪が安定していればこの辺

パーティーに1本予備のストック、もしくは自分のストックに合うバスケットを各自持参するべきなのかもしれない。特に購入したてのストックのバスケットは、しっかり固定されていない可能性がある所以要注意である。ということでA原さんはゲレンデで遊ぶことになり、今日はI崎さんとの二人旅となった。(紛失したバスケットはその後、奇跡的にゲレンデに落ちているのをA原さん本人が見つけた!!)

さて、我々は後ろ髪引かれつつも9:35にスキー場トップを出発。還暦過ぎた二人だが、休憩も取らずに登り続けて10:53三田原山山頂着、結構頑張ったが、やはり若者にはかなわない。途中で追いつかれたので道を譲ったらグイグイ差を付けられ、もう追いつくことはできなかった。やっぱり若いっていいよなあー。

■写真上 妙高内院ともいえる火口から滑ってきた三田原山を振り返る。

■写真中 光善寺池より妙高山の山肌を望む。

■写真下 遠く越後の山まで見える!!

さて、山頂からは二人とも未知のルート、ワクワクドキドキ楽しみである。若者は往路を戻って行き、今日のこのルートは我々貸切のようだ。お決まりの妙高プリンをバックに記念写真を撮って、北面の火口壁に滑り込む。傾斜は急だが、恐怖感を感じるほどではなく快適!!ただ、雪質によっては雪崩る傾斜なので慎重な判断は必要である。快適な滑降はあっという間に終わり、火口の底に降りる。ザラメの時期ならシールなしで難なく光善寺池までトラバースできるようなのであるが、今回はそれなりのラッセルになるので、無理せずにシールを付けて妙高山南面をトラバース開始。登る必要は全くないのだが、どうも習性でシールを付けたら



りで遊ぶのは上級者にとって楽しいと思う。光善寺池は積雪期でも「それ」とわかる地形であった。この辺りまでは実に順調、後は滝沢尾根に入れば「勝手知ったる快適ルート」とこの時は気軽に考えていた。

しかし、この後、思わぬ試練が待ち受けていた。そう、雪不足によるとんでもない藪地獄である。光善寺池でシールオフして滑降に移ったが、かなり藪藪で気持ち良く滑れない。そのくらいならまだ良いが、滝沢尾根に乗ろうとトラバース気味に滑ると、埋まっていない小さな沢型がたくさんあり、そのた



びに乗越すのに体力を消耗する。藪はどんどん濃くなり、ほとんど滑りにならず、時間もどんどん過ぎて行く。何とか滝沢尾根に乗って一安心・・・とはならず、辺り一面、藪林である。「こんな滝沢尾根は初めてだ！！」藪を避けながらガマンの滑降を続ける。不思議に思っていたが道理でヤマレコやヤママップにこの辺りの記録が最近全く載らないわけである。

■写真上 滝沢尾根で仲間と合流！！

■写真下 1/8の鍋倉山は快適！！

やがて下方に人影が・・・。I

崎さんが「ギンザ！！」と叫ぶと応答があり、仲間のメインパーティーだとわかった。イヤイヤ追いついてしまった。やがて、合流！！皆、黙々と文句も言わずに滑降に専念していたようだ。この状態ではかなり苦労したであろう。漫画の「岳」の主人公「三歩」ならきっと「よく頑張った！！」と褒めてくれたであろう。仲間と会い、賑やかになって少し元気が出ると、幾分樹間も広がり、少しまともな滑降ができるようになってきた。後は、深い沢の横断が無事に済むのを祈るだけだ。990m付近でトレースを見つけ何とか渡れそうな場所で沢床に降りて、横断成功！！対面をトラバース気味に進むとゲレンデに導かれた。フー・・・お気軽スキーツアーのつもりが、かなり厳しいツアーとなってしまった。それにしても雪が異常に少ない！！明日以降のルートをどうするか悩ましいところである。

下山後、杉ノ原スキー場でA原さんを拾って、いつもの苗名の湯で汗を流し、泊まるコテージは自炊不可なので食事は「樹香」という初めて入るレストランで、一番人気のくるみ味噌ラーメンを食す。味



はすこぶる良い！！ただ量が半端ない、これは大皿料理？と思わせる量である。後で聞いてみたらシェアも可能ということだ。一人1品だとお腹にきついが大勢で何品か頼んでシェアすれば、味は良いので楽しめる店だと思う。

お腹パンパンで今日宿泊のコテージへ。まあ、価格なりに、コテージというよりバンガローという感じのところである。2泊お世話になったが、価格はリーズナブルなので「一富久」のリリーフとして覚えておくには良いかもしれない。



## ■コースタイム

スキー場トップ (9:35) ~ (10:53) 三田原山 (11:03) ~ (11:15) 火口の底2084m付近 (11:30) ~ (12:00) 光善寺池 (12:25) ~ (12:58) 滝沢尾根1602m付近 (13:07) ~ (14:14) 沢横断990m付近 (14:17) ~ (14:40) アカカンスキー場ベース



1/8

## 温井～鍋倉山

メンバー：T野・I崎・A原・K井・K林・T村  
m・T村e・T山・T中m・S木・N井

今回人数が多いので、当初は2パーティーに分けて、別ルートに入ろうと思っていた。しかし、昨日の山の状態を見て一気にモチベーションが低下。快適に滑れそうな場所は限られている。最近の記録で鍋倉山を滑った記録があり、まずまず楽しそうだったので、全員でここを目指すことにして6:30頃宿を出発。登山口の温井集落に向かう。いつもこの時期、大人気の鍋倉山・・・その割には車が7～8台と意外に空いている。また昨日の再来か・・・？ちょっと嫌な予感が走る。ただ、雪は一応あり、トレースも昨日のらしきものがしっかりある。どうやら、何とかかなりそうだ。8:05に温井を出発。昨日うっすら雪が降ったみたいだし、基本気温は低めで天気もどんより曇っている。なので上手くすればパウダーが楽しめるかも・・・

ちょっと期待！！

■写真上 これぞ鍋倉のブナ！！

■写真下 癒されるなあー



トレースに従って登って行くが、いつものショートカットルートではなく、林道を忠実に登っている。やはり雪不足は否めないのだろう。昨日懲りたので、おとなしくトレースを辿って行くと、いつも取付く尾根にはトレースがなく、西ノ谷に伸びている。あえてラッセルすることもないので、このトレースを使わせ

てもらおうと、鍋倉山と黒倉山の鞍部に向かって導かれた。初めてこのルートから登ったが、多少遠回りの気がしないでもないが、傾斜が均一で登りやすく、キックターンが苦手な人や、悪天時などはこのルートの方が登りやすいだろう。それに、特筆すべきは西ノ谷のブナの森の雰囲気！！チョー気持ちいい！！何回も来ているが、この雰囲気、大好きである。今日もモノトーンの落ち着いたブナの森を歩い





OPPO A73



て行く。全然退屈ではないし、きつくもない。そう、ただただ気持ち良く、快適である。これこそ鍋倉山の白眉である。

鞍部からひと登りで鍋倉山に到着。いつもこの時期だと山頂の木はほとんど隠れているのだが、今年はまだ埋まりきっておらず、やはり例年より1m以上雪が少ないようである。ただ、それでもさすがはポテンシャルの高い鍋倉山！！滑降には全く不自由しない。いい感じの北面の疎林をまずは一本、いただきまーす！！

昨日と打って変わりストレスの全くない滑りに、思わず発情状態のサルのように叫びながら落ちて行く！！快哉を叫びながら西ノ谷まで滑れば、もうオカワリ決定！！再び登り返す。今度は滑るために登るので山頂にはこだわらない。快適に落とせそうな斜面を二本目、いただきまーす！！ウーン・マンダム。やっぱ鍋倉最高、I love Nabekura！！

西ノ谷のブナの疎林も超快適！！どうまん平に出ても曇空ゆえ、雪質は保たれて最後まで快適にフィニッシュ！！昨日の分も充分取り返してお釣りが来た1日でした。

■写真上 気持ちの良い登高

■写真中 滑りも良い！！

■写真下 満足満足！！

戸狩温泉で汗を流し、今回、人数が多いので、食事は車単位で採ることにして、我々は飯山市街の名前はうろ覚えなのだが確か「西乃茶屋」だったような気がする。そば、天ぷら、モチブタのとんかつなどもあり、頼んだおろしそばと天井は凄く旨かった。次回も再来決定の店である。





#### コースタイム

温井(8:05)～(11:10)鍋倉山  
(11:35)～北面滑降～(11:50)  
1095m付近(12:00)～(12:22)  
1200m付近(12:36)～2本目滑降  
～(13:30)温井

1/9

#### 大橋～佐渡山

メンバー: T野・I崎・A原・K  
井・K林・T村m・T村e・T  
山・T中m・S木・N井

最終日、滑りは全く期待薄だが  
天気が良さそうなので、雪山ハ  
イキングと割り切って全員で佐  
渡山に行くことにする。7時過  
ぎに大橋に着くと気温が-10℃、  
ムチャクチャ寒い!! 昨日、車  
のスキーキャリアに放り込んだ  
ままのスキー板やビンディング  
はバリバリに凍り着き、リーシ  
ュが伸びず装着に苦労する人や、  
ビンディングが上手くセットで  
きない人もいて出発に手間取る。

■写真上 冷え込んだ朝、霧水  
がキレイ!!

■写真中 雪不足で黒々とした  
黒姫山。

■写真下 雪不足だが神々しい  
高妻・乙妻!!



7:28出発、いつもの林道を歩  
き、黒姫との分岐で1本入れる。  
その後、佐渡山方面のトレース  
を行くがやはりここも深刻な雪  
不足。沢を渡るところにスノー  
ブリッジがなく、少し上流の怪  
しいブリッジを渡りほっと一息。  
取付いた尾根は藪だらけの細尾  
根で、できれば帰りには通りた  
くないルートだ。それでも、登  
るには支障がないので登って行  
く。やがて、1678m峰と佐渡山  
を結ぶ尾根に出ると、雪も多く





なり少し登りやすくなる。右側に雪底を見ながら長い稜線を歩く。天気は素晴らしいので、雪不足ゆえ名の如く黒い山肌の黒姫山が、ズドンと重量級の力士のように眼前に聳え、対照的に高妻・乙妻は彫りの深いピラミダルな男前の山容を見せ実に神々しい！！さらに、山頂に着けば、妙高・火打・焼の3兄弟も顔を見せ、雪山ハイキングとしてはそれなりに満足感を味わう。ただ、同ルートを滑降する気にならなかったのも、北面を見に行くと、藪は多めながらも何とか滑れそうである！！そのことをメンバーに伝えるが、皆、今ひとつ乗ってこない。まあ、この辺りは良いかもしれないが、標高が落ちるとどうなるかは全くの未知数だ。さらに、遅れて登ってきたK井さんが、ビンディングトラブルでえらい目にあったようで、不安なので往路を戻りたいという。悪いことは重なるもので、どこかでヘルメットも紛失したらしく、それも探しに戻りたいらしい。時間も11時を廻り、先の見えない北面は不安。こうなれば自ずと選択肢は往路一択となる。

■写真上 焼・火打・妙高の3兄弟！！

■写真中 佐渡山山頂で憩う。

■写真下 藪藪スキーだが結構楽しめる！！

ということで、ヘルメットを捜しながら滑降開始！！笹や藪がうるさいが思ったより快適に滑れ、ヘルメットも無事見つけることができて、まずは良かった。鞍部付近までは、笹混じりの斜面をそれなりに滑降を楽しみ、さて問題はここからの細尾根だ。しかし、「案ずるより滑るが易し」左右の側面を上手く使えば何とかなるものである。少なくとも初日の滝沢尾根より数倍マシな滑降で、なんか得

をした気分ですらある。最後の難関、沢の横断も無難にこなし、後は林道を自動運転でビューンとひと滑りで大橋に到着！！山頂から1時間15分程で、終わってみればなかなか楽しい滑降であった。

打ち上げは「道の駅しなの」、いつも夜、お世話になっているので、たまにはお金を落とさないで罰が当たる。今回はここで解散！！皆さん、有り難うございました！！

#### ■コースタイム

大橋（7:58）～（8:23）黒姫分岐（8:30）～（10:09）1673m付近（10:15）～（10:45）佐渡山  
（11:30）～（12:44）大橋